

あけましておめでとうございます

本年もよろしくお願い致します

去年は埼玉・富士見市と大阪・和泉市で2施設が相次いで竣工しました。今年も千葉・酒々井町と広島大学で2施設が竣工する予定です。

これからの劇場・ホールづくりには「市民参加」が大きなテーマになると思われます。既にこれまでも市民参加は様々な試みが行われてきましたがむしろこれからは、本来的に設計・運営と市民参加がどのように関わることが最善であるかという回答を出す時期であるとも考えられます。プロの世界とアマチュアの世界を融合させることは決して容易ではありません。このような状況の中で我々コンサルタントの役割は特に重要となります。

新しい時代の劇場・ホールづくりのため、より積極的に活動を広げようと思います。本年もよろしくお願い致します。

A.T.Network 代表 近江哲朗

和泉市「弥生の風ホール」・竣工 特徴あるホールができました

大阪府の南、泉北高速鉄道の終点・和泉中央駅のすぐそばに「和泉シティプラザ」が竣工しました。弥生の風ホールはその中にあります。客席天井にはお馴染みのダウンライトや空調吹出口が一切無く、それらの機能は新たな手法で解決されています。徹底したこだわりを守るために、音響反射板のダウンライトは客席平面形の楕円の曲率に合わせた配置に挑戦しました。照度分布シミュレーションでは比較的良好であったものの、正直なところ不安もある中で、現場測定でも良好な結果が得られホッとしています。今年の4月にいよいよオープンです。

データシート	弥生の風ホール	プロセニアムスタイルの劇場 客席数：664席
	その他の施設	図書館、生涯学習センター、女性センター、保健福祉センター、市出張所
	設置主体：和泉市 設計者：佐藤総合計画 開館予定：2003年4月	

キラリ ふじみ 市民参加の運営サポートに直面して

前号でお知らせした富士見市「キラリ ふじみ」が昨年秋オープンし、開館記念事業が始まりました。以前から市民（実行委員会）とともに進めてきた公演の実現にあたって、公演の表方をサポートするレセプションも市民参加です。しっかりした経験者からビギナーまでが混在する中で、統一感のある観客サービスをいかにして実現するか！これはとても大きな課題であるとともに市民参加の限界を見る思いで初日を迎えましたが、それまでに何回か実施したトレーニングの成果が素晴らしい形で表れてくれました。まずは順調に滑り出したということができそうです。しかしむしろこれからは正念場となる筈です。市民参加の場合、参加者の入れ代りを我々がコントロールすることはできません。そして現在ではレセプションとアートスタッフのみの市民参加も、ホールスタッフ（舞台技術）を加えるという予定の中で、運営アドバイザーとして私が市民をどのようにサポートできるか次回の報告記事をお楽しみにお待ちください。

新たな挑戦 PFI

最近急速に増えつつある新たな業務形態「PFI」について、先入観で劇場・ホールづくりには向かないなどと言ってはられない状況になりつつあります。現在いくつかお手伝いしながら感じることで、方式によりますが、むしろ「PFI」の方が適しているかなと思ったり！！

伝国の杜・置賜文化ホール 公演の新スタイル？

オープンして1年を経た「伝国の杜・置賜文化ホール」ですが、劇場の枠を超えた公演の試みなどが積極的に行われています。空気浮上方式によって移動する能舞台は、基本的に能公演実施時に舞台へと移動設置して使用し、エントランスホールでは展示機能を果たすものとされていました。

昨年、ある演奏会はホールを飛び出してエントランスホールの能舞台を背景に行われました。そして年末には再度エントランスホールでジャズコンサートの予定でしたが、チケットの売上が順調で収容力の都合上この公演はホールへと戻りました。今年はどうな試みをしてくれるでしょうか。

編集後記

毎年のことですが1年の過ぎるスピードがとても早く感じる最近です。10年のまとめも「そのうちに」と考えている間に年が変わってしまいました。反省！

年末年始休暇のご案内・他

・年末年始休暇・・・12月28日～1月5日
本年も現場・打合せなどのために出張、留守となる日が多くなりそうです。ご了承願います。